

(別紙5)

補助事業番号 2018P-031  
補助事業名 平成30年度 自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な社会  
作りを推進する事業  
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

## 1 補助事業の概要

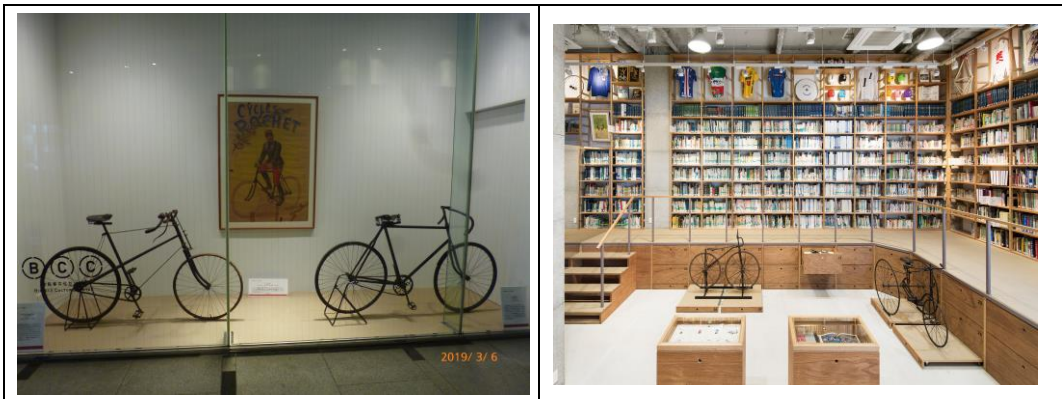
### (1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

#### 1. 自転車情報提供事業

自転車の総合情報提供施設である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。  
(来館者数 5,981名)



自転車文化センターライブラリー正面ショーウインドウ 自転車文化センターライブラリー展示室・専門図書

また、自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、調査研究報告書を作成し全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。[\(http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/\)](http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/)

#### 2. 自転車普及啓発イベント

##### ① 自転車月間イベント [\(http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2018/\)](http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2018/)

「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2018』を開催した(11,095名来場)



「サイクルドリームフェスタ2018」 入り口



「サイクルドリームフェスタ2018」 会場の様子

② 自転車に関する企画催事 (<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100237>)

下記の企画催事を開催した。

名 称：「2019 ハンドメイドバイク展」

期 間：平成 31 年 2 月 23 日(土)～24 日(日) (2 日間)

場 所：東京流通センター 第一展示場・A ホール

内 容：国内外のハンドメイドバイクのビルダー、メーカーの「実車展示」、  
斬新な新機構を試作し製品化を目指している、またはすでに製品化されている  
「独創的なパーツ展示」、ハンドメイドビルダー及びガールズケイリン選手や、  
元競輪選手によるトークショー、やすり掛け体験開催

来場者数：計 3,233 人 (23 日 1,660 人/24 日 1,573 人)



会場の様子



ガールズケイリン選手・元競輪選手による  
スペシャルトークショー

③ 自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下 3 テーマのテーマ展示、2 テーマの特別展示を行った。※補助事業は(2)と(4)のみ

(1) 第 1 回テーマ展示「自転車月間・ツアー・オブ・ジャパン展」

期間：平成 30 年 4 月 4 日(水)～7 月 1 日(日) 来館者数：1,184 名

(2) 第 2 回テーマ展示「多機能自転車展」

期間：平成 30 年 7 月 4 日(水)～10 月 14 日(日) 来館者数：1,750 名

(別紙5)

(3) 第1回特別展示「子どもと自転車展 ～懐かしい自転車を見てみよう～」

期間：平成30年10月17日(水)～12月2日(日) 来館者数：926名

(4) 第3回テーマ展示「世界の自転車展」

期間：平成30年12月5日(水)～平成31年3月3日(日) 来館者数：1,594名

(5) 第2回特別展示「自転車のクラシックポスター展 ～19世紀末アール・ヌーヴォー全盛期のポスター～」

期間：平成31年3月6日(水)～平成31年4月21日(日) 来館者数：507名(※3月31日迄)



「多機能自転車展」



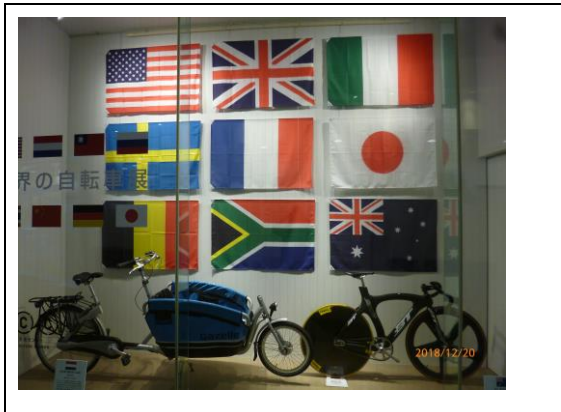
「多機能自転車展」



「多機能自転車展」



「世界の自転車展」



「世界の自転車展」



「世界の自転車展」

④出張教室

地方自治体、一般などからの依頼を受け、当センター学芸員や自転車安全教育指導員資格を有するスタッフが講師となり、小学生や高校生、一般社会人、高齢者等を対象に、パワーポイントを使った座学講習や、当センター所有の自転車シミュレーターなどによる実技体験を盛り込んだ出張形式の自転車交通安全教室を開催した。さらに、新聞、雑誌、テレビ等の取材依頼を受け、出演等も行った。

- 1) 「大井交通安全のつどい in 大井競馬場」にて自転車交通安全講習会  
日 時 : 平成30年4月4日(水) 10:00~11:45  
場 所 : 大井競馬場内 L-WING及び大井競馬場北門交差点  
主 催 : 大井警察署、大井交通安全協会  
参加者数 : 1,200
- 2) 「目黒2018ふれあいフェスティバル」自転車交通安全講習会及び自転車シミュレーター・クイックキャッチ体験  
日 時 : 平成30年4月8日(日) 10:00~16:00  
場 所 : 日の丸自動車教習所  
主 催 : 目黒警察署、目黒交通安全協会、日の丸自動車学校  
参加者数 : 2,000人
- 3) 高校生を対象とした交通安全教室での「自転車運転について」の座学  
日 時 : 平成30年4月26日(木) 13:25~15:15  
場 所 : 埼玉県立和光高等学校 体育館  
主 催 : 埼玉県立和光高等学校  
参加者数 : 600名
- 4) 「平成30年度自転車安全利用TOKYOキャンペーン・キックオフイベント」  
日 時 : 平成30年4月28日(土) 11:00~16:00  
場 所 : 台場トヨタMEGAWEB  
主 催 : 東京都、警視庁、東京都交通安全協会、東京湾岸警察署、東京湾岸交通安全協会  
参加者数 : 100人
- 5) 「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全教室」／戸越小学校生対象  
日 時 : 平成30年5月25日(金) 13:30~14:35  
場 所 : 品川区立戸越小学校 体育館  
主 催 : 品川区防災まちづくり部  
参加者数 : 57名(小学3年生/2学級)
- 6) 川口市民大学スポーツサイクリング教室 ~健康・生きがいセミナー~(1/3)  
日 時 : 平成30年6月10日(日) 10:00~12:00  
場 所 : 川口市立横曽根公民館  
主 催 : 川口市立横曽根公民館  
参加者数 : 14名
- 7) 川口市民大学スポーツサイクリング教室 ~健康・生きがいセミナー~(2/3)  
日 時 : 平成30年6月17日(日) 10:00~12:00  
場 所 : 川口市立横曽根公民館

(別紙5)

主 催 : 川口市立横曽根公民館

参加者数 : 20名

8) 「川口市民大学スポーツサイクリング教室 ～健康・生きがいセミナー～ (3/3)

日 時 : 平成30年6月24日(日) 10:00～12:00

場 所 : 川口市立横曽根公民館

主 催 : 川口市立横曽根公民館

参加者数 : 13名

9) 地域支援講座「快適な自転車生活」開催内「美しい自転車マナー」

日 時 : 平成30年6月30日(土) 10:00～12:00

場 所 : 小平市立花小金井南公民館 ホール

主 催 : 小平市中央公民館

参加者数 : 15名

10) 「親子自転車交通安全教室」開催での「自転車の正しい乗り方と、ルールとマナー」の座学

日 時 : 平成30年6月30日(土) 10:00～12:00

場 所 : 川崎市立古川小学校 体育館

主 催 : 川崎市幸区PTA協議会

参加者数 : 350名

11) 「シルバー人材センターにおける自転車事故状況と事故防止対策について」

日 時 : 平成30年7月10日(火) 14:45～15:50

場 所 : 静岡労政会館 6階ホール

主 催 : (公社)静岡県シルバー人材センター連合会

参加者数 : 130名

12) 「大井・大森夢フェア」内自転車シミュレーター、反応速度測定装置利用」を用いた自転車交通安全啓発

日 時 : 平成30年9月9日(日) 10:00～15:00

場 所 : 大森ベルポート イベントスペース

主 催 : 品川区防災まちづくり部

参加者数 : 1,200人

13) 「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全教室」

日 時 : 平成30年9月27日(木) 10:00～12:00

場 所 : 世田谷区立深沢小学校 1階視聴覚室

主 催 : 世田谷区立深沢小学校PTA

参加者数 : 55名(深沢小学校PTA)

14) 親子で学ぶ自転車のルール教室「自転車の左側通行の大切さについて」座学

日 時 : 平成30年9月29日(土) 10:00～12:00

場 所 : 横浜情報文化センター 11F(株)シーク内

主 催 : (株)chata

参加者数 : 15名

15) 「逗子アートフェスティバル／アートで僕らの道を考える」

日 時 : 平成30年10月21日(日) 10:00～16:00

(別紙5)

- 場 所 : 逗子銀座通り商店街スズキヤ駐車場内  
主 催 : 逗子歩行者と自転車のまちを考える会  
参加者数 : 100人
- 16) 「自転車の安全な乗り方及び自転車使用時の事故防止対策と安全対策」について  
日 時 : 平成30年11月20日(火) 14:00~15:00  
場 所 : 江東区文化センター 3階会議室  
主 催 : (公社)江東区シルバー人材センター  
参加者数 : 50名
- 17) 親子で学ぶ自転車のルール教室 パート2  
日 時 : 平成30年12月8日(土) 14:00~16:00  
場 所 : IS0横浜ヘリオス関内ビル3F  
主 催 : (株)chata  
参加者数 : 8名
- 18) 自転車のシミュレーターを使用した自転車安全講習会  
日 時 : 平成30年12月11日(火)、12日(水) 13:30~16:00  
場 所 : 東京しごとセンター 4階会議室  
主 催 : (公社)東京しごと財団  
参加者数 : 35名 (12/11:24名 12/12:11名)
- 19) 平成30年度「公認指導員講習会」  
日 時 : 平成30年12月24日(月・祝) 13:00~15:00  
場 所 : 境川自転車競技場1階会議室  
主 催 : 山梨県自転車競技連盟  
参加者数 : 6名
- 20) 「自転車安全講習会」  
日 時 : 平成31年2月7日(木) 13:30~16:00  
場 所 : 神奈川県立金沢総合高等学校会議室  
主 催 : 神奈川県立金沢総合高等学校PTA  
参加者数 : 43名
- 21) 「自転車シミュレーターを使用した自転車安全講習会」  
日 時 : 平成31年3月8日(金) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30  
場 所 : 葛飾区シルバー人材センター3階会議室  
主 催 : (公社)葛飾区シルバー人材センター  
参加者数 : 43名 (①24名 ②19名)



自転車安全利用講習会  
(川崎市幸区 PTA 協議会)



自転車交通安全講習会  
(江東区シルバー人材センター)



自転車交通安全教室  
(埼玉県立和光高等学校)



自転車の分解  
(夏休み自転車教室)

また、自転車の楽しみや魅力を伝えることを目指し、夏休みと春休みの期間中に一般の人が参加・体験でき、特に夏休みの期間については、自由研究の課題にも活用できる教室を開催した。併せて自転車の正しい乗り方についての安全利用講習も行った。

●夏休み自転車教室／自転車文化センター「夏休み自転車教室」

開催日：平成30年8月11日(土・祝)

場所：自転車文化センター1階／自転車総合ビル6階

時間：10:00～11:00 ①自転車乗り方教室(601・602会議室)

および内容10:30～11:00 ②自転車の歴史教室(ライブラリー)

11:15～11:45 ③自転車の科学教室(ライブラリー)

13:30～15:00 ④自転車の分解教室(ライブラリー)

講師：①山口 文知 ②、③谷田貝 一男 ④中野 俊喜

参加者：①子ども 6名 保護者 6名 計 12名

②子ども 2名 保護者 3名 計 5名

③子ども 6名 保護者 8名 計 14名

④子ども 5名 保護者 9名 計 14名

---

合計 子ども 19名 保護者 26名 = 45名

●春休み自転車教室／自転車文化センター「春休み自転車教室」

開催日：平成31年3月31日(日)

場所：自転車総合ビル6階 会議室 601号室

時間：午前の部 10:00~12:00 / 午後の部 13:30~15:30

内容：①自転車乗り方教室

②自転車の正しい乗り方・ルールとマナーについて

講師：山口 文知

参加者：午前の部 / 子ども 5名 保護者 4名 計 9名

午後の部 / 子ども 6名 保護者 7名 計 13名

合計 子ども 11名 保護者 11名 = 22名



夏休み自転車教室  
「自転車は何故倒れないのか？」



春休み自転車教室  
「自転車乗り方教室」

3. 自転車による地域活性化促進事業

①全国統一自転車促進キャンペーン (<http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>)

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。



統一事業(和歌山バイコロジー)



統一事業(香川バイコロジー)

②バイコロジー地域リーダー養成セミナー

([http://www.bpaj.or.jp/file\\_upload/101373/\\_main/101373\\_01.pdf](http://www.bpaj.or.jp/file_upload/101373/_main/101373_01.pdf))



(別紙5)

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを開催した。



18組織21名、一般12名他関係団体17名

合計50名参加

## 2 予想される事業実施効果

### 1. 自転車情報提供事業

自転車文化センターが目黒に移転してから満5年が経ち、利用者には熱心なリピーターも多く徐々に施設の認知度が上がっていることから、今後も自転車に関する幅広いニーズに応えることができる公共施設として利用される機会の増加が期待できる。

また、一般の方やメディア等の自転車への興味・関心がますます高まることが予想され、自転車に関する様々な情報提供や発信の場が必須であり、当センターがその役割を担うことで、自転車文化の醸成や産業の振興等に寄与する。

### 2. 自転車普及啓発イベント事業

#### ア) 自転車月間イベント

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想される。「自転車の日」記念事業を通じて月間の周知・趣旨の浸透が図られることにより、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

来年も来たいと言う声が多いことや、平成29年5月1日付で「自転車活用推進法」が施行されたことにより、一般のみならず、国や地方自治体、警察などからも自転車への関心が高まり、毎年継続して実施する必要性がある。自転車への興味関心を高める役割を果たすことが、自転車月間イベントの目的を果たすことに繋がると期待される。

#### イ) 企画催事

自転車を利用する人の目的や用途、体格や年齢等に応じたオーダーメイド自転車の需要は、多岐に亘っている。一般の方々の余暇や暮らしの質を高めるツールとして、高齢化社会に向けて、また身体に障害をもっている方のリハビリ用としてなど、今後も継続してニーズは高まると予想される。そういったニーズを満たす自転車を知る機会が、一般の方やメディア等に広く求められており、「ハンドメ

(別紙5)

「イドバイシクル展」は、その大きな一助となっている。

ウ) テーマ展示

自転車文化センター内の展示については都度テーマを設けて行うことで、リピーターの来館者はもとより新規来館者を誘致するきっかけになり、自転車に関する豊富な情報に触れる機会を提供する。そして、社会や生活における自転車の位置付けを再認識する機会とし、身近で便利な移動手段に留まらない自転車の魅力を周知することで、自転車文化の醸成を図る。

また、常設展示として歴史的な自転車を随時展示し、一般の来館者の方やメディア等に「いつでも歴史的な自転車を見ることが出来る施設」として認知を拡げること、来館者数の増加に繋がることを期待できる。

エ) 出張教室

子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、それぞれの年代または、利用目的（通勤、通学）により事故例やその防止策等自転車利用時の交通ルール・マナーを改めて学習する機会を創出し、自転車利用の正しい知識を深めることで自転車事故の減少に繋がり、自転車は軽車両であるという認識を強くし、自転車の安全利用の普及促進効果が期待できる。

3. 自転車による地域活性化促進事業

ア) 全国統一自転車促進キャンペーン

「バイコロジー運動」の推進を図るために、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに、各地域における活動を実施した。

バイコロジー地方組織の統一活動として、交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーンを春・秋の全国交通安全運動期間及び自転車月間に実施し、バイコロジー運動の全国的な普及啓発を図った。キャンペーンでは、配布用のチラシ(反射シール・ティッシュ付き)を作成し、バイコロジー地方組織に配布した。なお、今年度のチラシに平成29年5月1日で施行された「自転車活用推進法」に加え、自転車乗る前点検の合言葉「ぶたはしゃべる」の表記をした。

今後は国及び地方自治体と連携して自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及啓発の役割を果たすことが求められる。

イ) バイコロジー地域リーダー養成セミナー

バイコロジー地域リーダー養成セミナーにおいては他に先駆けて自転車活用推進本部に講師を依頼し、本年6月8日に閣議決定された「自転車活用推進計画について」直接聴くことができた。

一般聴講者には自治体の方も多く、終了後には講師へ直接質問している方も複数いた。

また、当日は都合がつかず参加できなかったため資料を欲しいとの問い合わせもあった。

各地域におけるリーダーの養成により、バイコロジー運動の普及推進が進み、地方組織の活性化・拡充が期待できる。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

・ 自転車文化センター研究報告書(第11号)

<p>報告書 (表紙)</p>	<p>報告書 (目次)</p>

(<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100402>)

・ 「2019 ハンドメイドバイシクル展」印刷物

<p>チラシ・ポスター</p>	<p>来場者アンケート</p>
<p>来場者用パンフレット (表)</p>	<p>来場者用パンフレット (裏)</p>

(別紙5)

・平成30年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告

(<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2018/>)



・平成30年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2018』  
来場者案内用チラシ

<p>チラシ(表)</p>	<p>チラシ(裏)</p>

・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

<p>パンフレット(表)</p>	<p>パンフレット(裏)</p>

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署： 事務局(ジムキョク)

担当者名： 事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： [jifukyo@jifu.jp](mailto:jifukyo@jifu.jp)

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>